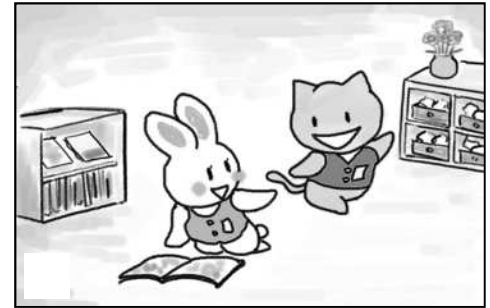


(裏)



[セリフ]

ねこくんとうさぎさんは、今日もなかよく幼稚園で遊んでいます。

「うさぎさん、おはよう」

「おはよう、ねこくん！ 今日は何して遊ぼうかしら？」

二人が楽しくお話ししているその時です・・・

(裏)

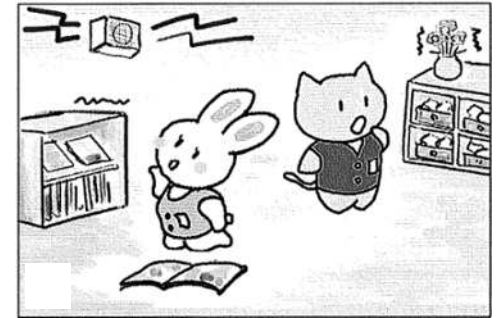
[セリフ]

(緊急地震速報の報知音<例>)

♪チャランチャラン チャランチャラン！

♪ティロンティロン ティロンティロン！

♪ピロンポロン ピロンポロン！



いつもと違うチャイムの音が聞こえてきました！

カタカタカタ・・・

「あれ？ 花瓶がカタカタいってるよ？」ねこくんが気づきました。

「あら？ 本棚も揺れているわ？」うさぎさんも気づきました。

どうやら、地震がおきたようです。

(裏)

[セリフ]

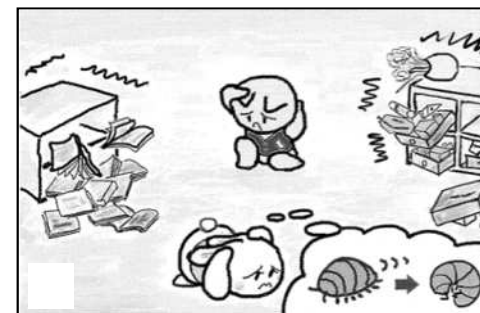
グラグラグラ ~ ~ ~

揺れがだんだん大きくなってきました。
大きな揺れは、本箱の絵本を散らかしたり、
ロッカーのお道具箱をひっくり返しました。

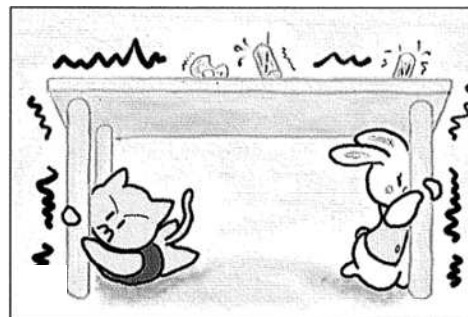
「うわぁ地震だぁ！ こわいよう！」

「ねこくん！ こっちよ！ 早く頭を守って！」

二人は「だんごむしのポーズ」で頭を守りました。



(裏)



[セリフ]

おうちにいるときは、机やテーブルの下に隠れて頭を守ることができます。

二人は急いで机の下に隠れ、脚にしっかりつかまって、
自分の体を守りました。
これはとてもいいことです。

地震で建物が大きく揺れると、いろいろなものが落ちてきたり、
倒れてきてとても危ないのです。

だから、うさぎさんたちみたいに机の下に隠れて、
自分を守るとはとっても大事なことです。

(裏)

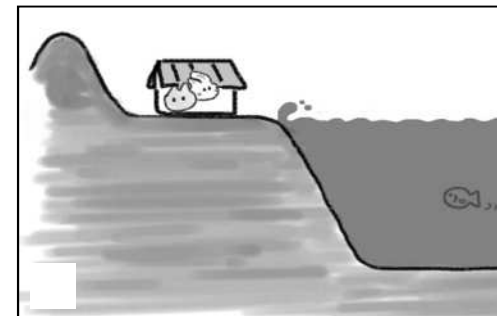


[セリフ]

そのうち、揺れがおさまりました。
でも、ここで安心してはいけません。
この後に「津波」が来るかもしれないからです。

ところで、「津波」って、どんなものなのでしょう。

(裏)

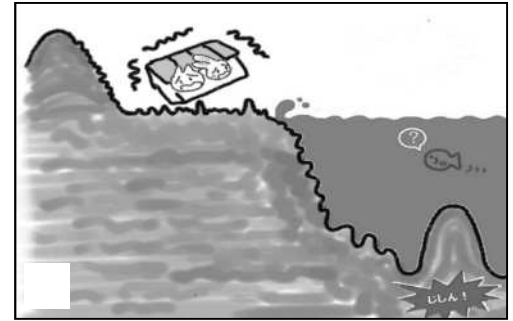


[セリフ]

「津波」は、地震によってできる、とても大きくて強い波のことです。

海の底の方で強い地震がおきると…

(裏)



[セリフ]

地面がぐらぐら大きく揺れて、
海の底が盛り上がったたり、逆に沈むことがあります。

この海の底が盛り上がったたり、沈んでしまうと(海の水が・・・)

(裏)



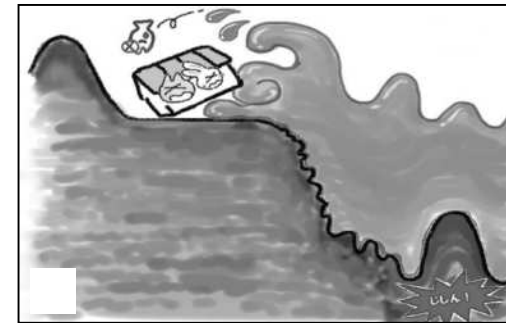
[セリフ]

海の水も一緒になって、大きく盛り上がったたり、沈み込んだりします。
そして、とても大きな波になります。

この大きな波が「津波」です。

津波はとっても大きな波なので、町にやってくると…

(裏)



[セリフ]

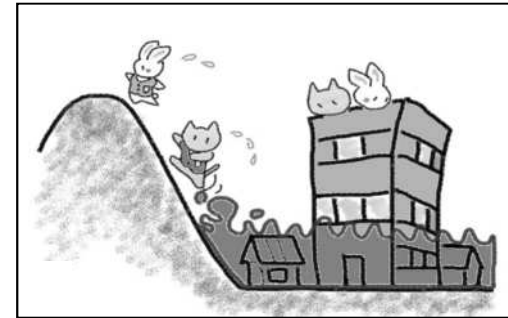
とても強い力で、いろいろなものを飲み込んでいきます。

ところで、みなさんは海に泳ぎに行ったことがありますか？

津波は、そのときの波とは比べものにならないくらい、とても大きくて強い力を持っています。

だから、車やおうちを押し流してしまうこともあるのです。

(裏)



[セリフ]

津波の力はとても強くて、人の力では防ぐことができません。
また、津波の速さはとっても速くて、走って逃げて間にも合いません。

ですから、大きな地震があったら、
津波が来るかもしれないと思って、津波から逃げましょう。

津波から逃げるには、海から離れること、
そして津波の来ない高い山の上や、ビルの上など、
できるだけ高い場所へ逃げるのが大切です。

(裏)



[セリフ]

地震がおさまったあとの幼稚園では、わんこ先生がみんなに言いました。
「みんな、地震の後に、津波が来るかもしれません。
急いで、高いところへ逃げましょう。
みんなで一緒に、裏の山へ逃げましょう。」

ところがねこくんは、
おうちと、おうちにいるお母さんのことがとても心配です。

ねこくんは、
「ぼく、早くおうちに帰りたいよう。お母さんに会いたいよう。」
と言うと、がまんできずにおうちに向かって走りだしました。

(裏)



[セリフ]

ねこくんは、一目散におうちに向かって走りました。

「ぼくは幼稚園で一番足が速いんだ。津波が来たって、走って逃げてやるさ。」

ねこくんは、津波が見えたら走って逃げようと思っています。

すると、海の方から誰かが走ってきました。

(裏)



[セリフ]

走ってきたのは、くまさんです。
「ねこくん、どこへ行くんだい？」

「あのね、ぼくおうちに帰るの。お母さんの所に帰るの。」

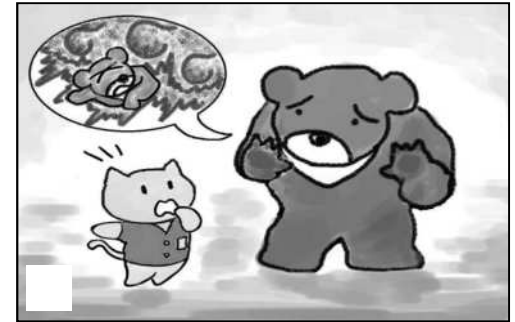
それを聞いたくまさんは、
「だめだめ、もうすぐ津波が来るから、高い所へ逃げなきゃ。」

「大丈夫だよ、ぼくは足が速いから、津波が来たら走って逃げるもん。」

そう言うねこくんに、くまさんは・・・

(裏)

[セリフ]



「だめだめ、津波はとっても速くて強いんだ。
車と同じくらいの速さでやってくるから、
足の速いねこくんでさえ追いつかれちゃうし、大人でも逃げ出せないんだよ。」

ねこくんは、びっくりしました。
津波がそんなに速くて、
力持ちのくまさんでも逃げられないくらい強い波だとは思わなかったからです。

「さあ、早く一緒に高い所へ逃げよう。
きっと、ねこくんのお母さんもそこへ逃げて、ねこくんを待っているよ。」

ねこくんはくまさんと一緒に高い所へ走りだしました。

(裏)



[セリフ]

ねこくんとくまさんが高い山へ逃げる途中、町に津波がやってきました。

津波は、ものすごい速さと勢いで町をおおい、
おうちや車が波に飲み込まれて流されていきます。

その様子を見たねこくんは、
「津波ってこんなに速くて、こんなにものすごい勢いでやって来るんだ！
ぼくがどんなに速く走っても助からないよう！」
と思いました。

やがて、ねこくんとくまさんは、津波の来ない山の上にたどり着きました。

(裏)

[セリフ]



すると、そこには、幼稚園のみんなや、
みんなのお父さん・お母さんたちがいました。

「あっ、ぼくのお母さんもいる！ お母さーん！」
ねこくんは、お母さんに抱きつきました。

お母さんたちも、津波が来るかもしれないと思って
この高い山に逃げていたのです。

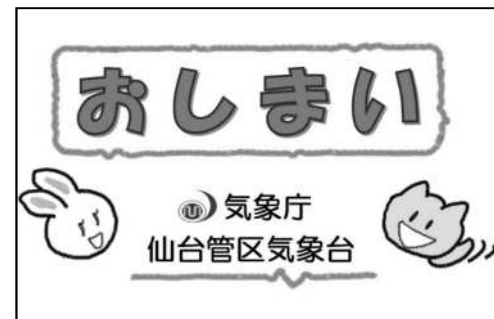
こうしてねこくんは、やっと、お母さんと会うことができました。

みんなの幼稚園でも、大きな地震がおきたら、
先生や大人の人言うことをよく聞いてね。
そして、海の近くにいるときは、
先生やみんなと一緒に高い所へ逃げるようにしましょうね。

(裏)

[セリフ]

おしまい



(裏)

[セリフ]

『 つなみからにげよう 』

みんなは、「津波」って知ってるかな？

津波は、海の水が陸に押し寄せてくる、大きくて強い波のことです。

津波は、とても強い力で陸に押し寄せて、車やおうちまで流してしまうこともあります。

もし、津波がみんなのいる町に来たら、どうやって逃げればいいのか？

今日は、ねこくん、そしてうさぎさんたちと一緒に、津波から逃げるにはどうすればいいのか、一緒に考えてみましょう。

